

## 委託制作者 一覧

	氏名	経歴
触れる美術作品	金箱 淳一	<p>◆楽器インターフェース研究者、Haptic Designer。神戸芸術工科大学助教。筑波大学大学院人間総合科学研究科で博士（感性科学）を取得後、障がいや年齢に関係なく、共に音楽を楽しめる「共遊楽器」（作家による造語）を研究。</p> <p>1984年 浅科村（現：佐久市）生まれ。 2007年 第11回文化庁メディア芸術祭IT/タ-タイム/外部部門審査委員会推薦作品 2013年 Asia Digital Art Award IT/タ-タイム/外部部門大賞、経済産業大臣賞</p>
	中ハシクシゲ	<p>◆現代美術作家、彫刻家。京都市立芸術大学教授。 視覚を遮断して制作するという実験的な手法により、触覚体験の可能性を探求。</p> <p>1955年 香川県生まれ。 1990年代末～日本の風土に寄り添った彫刻制作を志向し、剪定された松やカヌー像、写真を使った「ゼロ・プロジェクト」の後、粘土による即興的なモデリングを始める。 パブリックコレクション：兵庫県立美術館、福岡市美術館、東京都現代美術館 他</p>
	西村 陽平	<p>◆陶芸家。日本女子大学名誉教授。 自身の作品制作とともに、障がいのある方々や様々な人々の造形活動にも関わりワークショップを多数開催。</p> <p>1947年 京都生まれ。 1974～98年 千葉盲学校 美術教諭 2001～16年 日本女子大学家政学部教授 1977年 第4回日本陶芸展外務大臣賞受賞 パブリックコレクション：東京都現代美術館、国立陶磁美術館（仏）、ビクトリア&amp;アルバート美術館（英） 他</p>
	光島 貴之	<p>◆美術家。鍼灸師。10歳頃失明。触覚による表現方法を模索し美術作品を発表。触覚に着目したワークショップにも取り組む。</p> <p>1954年 京都生まれ。 1992年～ 粘土造形制作開始 1995年～「触る絵画」制作開始 1998年 「'98アートパラリンピック長野」大賞・銀賞受賞 パブリックコレクション：府中市美術館、兵庫県立美術館 他</p>
映像作品	榎原 澄人	<p>◆国内外での多数の上映歴・受賞歴を有し、高い評価を受ける県内在住の映像作家。</p> <p>1980年 北海道生まれ 1995年 15歳で渡英 2003年度文化庁芸術家在外研修（現：新進芸術家海外研修） 2016年 Cutout Fest実験アニメーション映画部門：大賞（※特別） 2015年 国際アニメーション映画祭ビデオインスタレーション部門：大賞（DVA） 2014年 Animatou：ブロンズベガサス賞（ホ-ラウト） 等受賞多数</p>
	ユーフラテス	<p>◆メディアデザインを得意とするクリエイティブグループ。 映像、アニメーション、展示、グラフィックなど、メディアを問わず「考え方を重視した表現」を追求。</p> <p>2005年 慶應義塾大学 佐藤雅彦研究室の卒業生により設立 2005年～ NHK E テレ『ピタゴラススイッチ』 『大人のピタゴラススイッチ』コーナー映像制作 2010年～ NHK E テレ『0655』『2355』ディレクション 等多数</p>